

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－	－
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・ようやく売上に徐々につながるような客との対面ができるようになった。
	○	スーパー（経営者）	お客様の様子	・イベント等のときは集客があるが、通常の販促時はそれほどでもない。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・6月時点の売上は前年比96.6%、来客数は前年比97.2%に対して、現在の売上が前年比100.9%、来客数は前年比99.4%となっている。売上、来客数共に月を追うごとに前年並みに近づいている状態である。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・季節的な商品は前年よりも売上が悪いが、テレビなどの大型商品が好調となっている。新型コロナウイルスの影響も収まりつつあり、客の購買意識も改善しているようである。
	○	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ワクチン接種が進んできており、サービス入庫による来店客が少しずつ戻ってきている。
	○	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少している。また、お彼岸で当店の主な客である高齢者が買物等にやや動き出ししているため、売上もやや持ち直している。
	○	観光型旅館（スタッフ）	単価の動き	・来客数は3か月前と比べても変化はないが、客単価が2000円ほどアップしている。宿泊単価が高い部屋が3か月前と比べて5倍の売行きとなっている。
	○	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・サービスエリアの拡張により放送サービスの新規加入者が若干増えている。これまで無料のサービスを提供してきた特定エリアを有料化したがる、自宅時間が増えた影響もあり、有料契約に移行してくれる客が増えている。通信サービスも僅かであるが、純増で推移している。
	○	観光名所（職員）	単価の動き	・様々な場所での宣言解除により、来客数は少しずつではあるが増えている。さらに、訪れた客が金を使い単価が非常にアップしており、やや上向きになっている。
	○	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・9月の来場者数は前年比約70%、過去5年平均比約65%となっている。週末の来場者数は少しずつ向上しているが、感染症対策の兼ね合いから集客を狙ったイベント開催はまだ難しい。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・割り増し商品券等の効果がみえず、景気が浮上する気配がない。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・客単価は良く、前年並みかそれ以上となっているが、来客数は相変わらず減少傾向にある。3か月前と状況は変わらない。
	□	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・新規感染者数の増加、自治体のワクチン接種の遅れ、県独自の緊急事態宣言により、8月から状況がどんどん悪化していった。月中の緊急事態宣言解除後も状況は変わらず厳しかったが、月末になりようやく改善し、上向きになってきている。
	□	スーパー（経営者）	単価の動き	・月半ばまでは前年並みだった売上は後半失速している。平均1品単価は前年と同じ推移であり、来客数と買上点数は前年よりも減少している。結果として前月と同じになった。地域をみると、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等、新型コロナウイルス感染対策の長期化により業績が一層厳しくなっているところも多い。また、今年の米価の低下、食品の値上げ、雇止め等雇用に対する不安の声もある。外出自粛や買い控えもある。よって消費動向は良くない。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ4週で新型コロナウイルス感染の落ち着きがみられ、来客数への影響も弱くなっている。しかし、年末へ向けてまた増加する可能性もあり、来客数への影響を懸念している。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少が続き、厳しい状況である。客単価が下がっていないのが救いである。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが余りない。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数前年比は8月より90%前半で推移している。緊急事態宣言解除まで厳しい状態が続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月前半までは高気温により来客数が伸びた。その頃と前月下旬から現時点までのそれぞれの期間での来客数前年比を比較すると数値に下落が見受けられる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・売場は依然として客足が鈍く、人出が全くない状態である。外商で売上を作っているが職種により購入額に違いがみえる。電設関連の企業が順調のようである。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・コロナ禍における営業時間の短縮や消費動向の変化により、来客数及び買上点数が減少している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年よりも少ない状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型車効果もあり、来客数は以前と比べ増加している。受注も増えつつあるが、販売単価はやや下がり気味である。トータルでは3か月前とほぼ変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・ここ数か月で各社の新型車発表が続いたこともあり、その話題性から来客数も多くなってきている。販売店としてはうれしいことといえるが、一方でメーカーの生産調整による長納期の影響も大きく、来場増が販売にうまく結び付かないのが現状である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・人口10万人当たりの感染者数が都道府県別で上位となり、来客数が更に減少している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・前年よりは観光地などに客が少し戻りつつあるが、それでも例年の半分以下で、そこから制服への注文にはならない。外食産業も同じく、地元のレストランや食堂からの注文はほぼゼロに等しい。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	お客様の様子	・感染状況が落ち着いてきたせいか多少客足は伸びてきているが、まだまだ購買にはつながっていない様子がうかがえる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・僅かだが、レストラン利用の客が増えてきている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・低空飛行が続いている状況である。最近では感染状況が落ち着いてきたこともあり、来月以降の予約問合せの電話が多少入り始めているが、今のところはまだまだ客が来ない状況である。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、客足は思うようには伸びていない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・全国的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ている限り、消費者の経済活動は活発化しないとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新規感染者数は減ってきたが緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ていたこともあり、売上は低調のままである。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による人流抑制により、個人旅行や団体旅行が上向きに転じるには至っていない。ワクチン接種と県をまたぐ移動の規制解除が業界にとっての生命線である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・4～5月実施の修学旅行が9～10月に変更となっていたが、それも更に延期・中止が続いている。反面、自治体の受託事業の取扱が増えており、全体的には低調のままであるが、総じて変わらない状況である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・旅行業につき、感染者の動向と人流の影響が直結する。9月は緊急事態宣言等により中旬までは大変厳しい状況であった。前年はGo To Travelキャンペーンが部分的に開始していたこともあり、前年比でも厳しい状況であった。しかし、中旬以後は新規感染者数の減少に伴い受注は増加傾向にある。今後の行動規制緩和の中身によっては、需要が一気に噴き出すことにも期待が持てる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・前月同様変化はない。高級志向が年々下がり、ブランド志向も変わり、良いものを安く購入する人が増えている。薄利多売のため変わらない。

□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続している。
□	競艇場（職員）	来客数の動き	・元々多くはなかったが、緊急事態宣言が発出され時短営業を行ったため、来客数がますます減少している。
□	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍による消費者マインドの疲弊は大きく、売れない状況が続いている。引き籠り状態で、前向きの明るい気持ちになれない人があふれている。
□	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・少額資金の客向けに低価格の建売事業を始め、そこそこの受注はあるが、依然動きが鈍い。
□	その他住宅 [リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器については給湯器の納品遅れにより工事が減っている。リフォームについては増改築、塗装の大型工事が減っている。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・ワクチン接種者数は増加し、新規感染者数も減少傾向にあるものの、消費意欲が鈍く景気回復感はない。
▲	一般小売店 [酒]（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加が続いたことが影響し、夜の飲食店及び旅館関係への販売量が著しく減少している。週末の日中は多少なりとも人の動きはあるが、平日の夜ともなると繁華街でも人通りが全くないと客からは悲鳴があがっている。
▲	一般小売店 [医薬品]（経営者）	来客数の動き	・売上が極端に落ちるといってもなく、コロナ禍前とさして変わらない。しかし、全般的に来客数が減って、単価の高い客のみが残っているという状況である。
▲	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・中旬以降はやや持ち直してきているものの、新型コロナウイルスの感染拡大により前月から来客数が前年割れの状況が続いている。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染第5波による感染拡大で来客数は大きく減った。落ち着きを取り戻したものの、回復の鈍さが続いている。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・売上前年比は100.0%を維持しているが、来客数が97.8%で前年を割っている。巣籠り需要で好調な推移をしていた生鮮、日配部門が前年を割り込んできていて、特に酒、雑貨は前年から大きく割り込み、生活必需以外は慎重な買物動向になっている。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向になっているが、来店頻度に変化はなく、まとめ買いも一時より節約志向に転じている。ポイントや割引サービスへの集中が増えていることから、価格競争が強まるのではないかと懸念している。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が増えず前年より減少している。それにつれて、たばこ、弁当等の主力商品の販売量は減少している。逆にスイーツやワイン、洋酒などの家飲み関係の需要が増えている。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・一時期人流が増えたことで新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増え、人の動きがかなり鈍くなり来客数も減った。新型コロナウイルス新規感染者数はかなり減ってきているが、客自体の動きがなければ売上が厳しい状態が続く。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夏場に予想以上に売上が上がらず、利益もかなり減った。今月も前年割れを起こしている。多様な施策により廃棄もかさんでいる。来月には最低賃金が上がり、再来月から除雪の支払も始まる。とにかく厳しい。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少を購入単価でカバーしている状況に変化がない。
▲	コンビニ（店長）	単価の動き	・9月は連休が多く、緊急事態宣言下であったため、来客数はかなり厳しくなっている。しかし、前年を割ってはいない。
▲	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・全国的な新型コロナウイルスの感染拡大から、少しずつ落ち着きを見せつつある。
▲	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・単価の低い商品が購入されている傾向がある。

▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・部品欠品による新車納期遅れが発生し、売上が例年と比較して約50%減少している。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・車両の動きが減ったことにより、燃料油の販売量は減少している。新型コロナウイルス感染対策の影響で落ち込んだ前年実績から更に10%減少している。
▲	高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・9月30日で緊急事態宣言等が解除されるが、コロナ禍において現在は非常に良くない。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・乗車回数を3か月前と比較すると、8～17時までの乗務で平均3～4回の乗車回数減少となっている。緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置へと移行されているにもかかわらず乗車回数が減っていることは、明らかに景気の悪化を意味しているといえる。
▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・今月前半は来客数が前年の8割程度まで落ち込んだ。しかし、まん延防止等重点措置が月末で解除となりそうな状況になってきたことから、前年比90%くらいに戻りつつある。景気は悪いが良い兆候もみられるようになってきている。
▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあるが、会社も余り良くないようで、客の動きが少なくなってきている。
▲	設計事務所 (経営者)	競争相手の様子	・専門誌の官公庁案件の建築設計及び工事監理業務の落札率を確認すると、直接工事費にも満たない落札、最低制限価格や調査基準価格を想定した金額での応札の割合が増えていることから、低価格での受注が増え、状況が悪化していることがうかがえる。
×	一般小売店 [書籍] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数とワクチンの接種状況を鑑みると、消費マインドは相当落ち込んでいるとみられる。
×	一般小売店 [医薬品] (経営者)	お客様の様子	・3か月前は時間短縮営業をしていたが、その後、緊急事態宣言の発出があり酒の提供が一切できなくなった。それが9月12日に終了したが、同時にまん延防止等重点措置に替わり、時間短縮営業となっている。客からは「酒を出せない繁華街は面白くない」という声が聞かれ、繁華街にほとんど客が来なくなっている。
×	百貨店 (経営者)	来客数の動き	・再び緊急事態宣言下となり、来客数が4割減少している。催事の中止、飲食店の時短営業など売上にも大きく響いている。好調だった高額商品も横ばい状態になっている。
×	スーパー (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、原材料高による値上げ商品が相次ぎ、客の動向としても安いものを買いたいという傾向がある。
×	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言により人の動きが悪くなっており、来客数は大幅に減少している。新規感染者数が非常に多いこともあって、リモートワークや外出制限も徹底されており、前年と比べると、売上に非常に悪い影響が出ている。
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスで停滞感があるのか、来客数が少ない。
×	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・県独自の緊急事態宣言が解除され少しずつ人流は増えているようだが、来客数は余り増加していない状況である。
×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・ここ数か月の動きを見ていると、お盆前後くらいから非常に景気が悪くなっている。都会からの来訪や東京オリンピック等々で人流が制限され、さらに8～9月の緊急事態宣言により大変悪い状態が続いた。そこから浮かび上がってきていないというのが現状である。
×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・個別注文家具なので、大型の物件がなければ販売量も増えない。
×	その他専門店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・7月からここまで飲食店と店頭販売の両方が悪い状況が続いていた。店頭販売がやや持ち直したものの、まだまだ厳しい状況が続いている。

	×	その他専門店 〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・2年前と比べて来客数が半分以下である。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域ではないが、県から不要不急の外出はしないようにいわれている。店舗も個人も感染対策をしているのに、責任を負いたくないのだろう。
	×	一般レストラン （経営者）	それ以外	・緊急事態宣言から移行し、9月30日まではまん延防止等重点措置が適用されている。現在休業中なので良くはない。
	×	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・今月は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により店が営業できなかったり時短営業だったりしたため、まともな営業ができず、比較する対象にならない。売上が全く立たない日があり、決して良い状態ではない。
	×	一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・相変わらず新型コロナウイルスに対する警戒心は高い。仕事途中の食事も含めランチタイムの来店はあるが、夜はゴーストタウン並に街が静まり返っており、飲食店はまだまだ厳しい状況である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・ワクチン接種が大分進み2回目が終わった人もかなり多くいる。しかし、日々の生活においては、景気が上向くほど人が動いてはいない状況である。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・スーパー系の小売業は好調だが、飲食業は廃業に追い込まれる店舗が散見される。宿泊施策も厳しい状況が続いている。
	×	遊園地（経営者）	来客数の動き	・8月からまん延防止等重点措置、緊急事態宣言発出、まん延防止と推移した影響が大きい。さらに、前年の4連休が3連休となり、前年比で大きく下回っている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・取引状況については良くなっている。街中でも新規着工している様子が見られる。
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・カメラ業界は、全体的に受注状況が良い。
	□	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・農協出荷分のももの精算書は遅霜の影響による品不足のため、例年より2割程度販売単価が高くなっている。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比95%となっており、前年割れの状態に変化はない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年も秋のイベントが軒並み中止となり、印刷物の注文がない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月期末までに新型コロナウイルスの感染が収束状態であれば、来年度に向けた動きが少しずつ発生するかもしれない。しかし、見通しが立たない今の状態では景気回復までに1年は要するのではないかとみている。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・半導体製品の大口価格が徐々に下降している。しかし、これは従来の傾向であるため、景気としては大きな変化はない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体不足の影響による部品供給の停滞など、大きくはないが影響を受けている。
	□	建設業（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で売上が減少したなどの直接的なことはない。ただし、現場で新型コロナウイルスに感染した作業員などが出れば、現場が止まるため工期が延長になるなどの影響はある。
	□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・一定の受注契約はあったものの、大型の受注はない状況である。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月に入って若干ではあるが売上が前年並みのところまで戻ってきた。上半期の売上は前年比99%である。ただし、前々年比だと85%であり、依然として厳しい状況である。
□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・客もリモートワークにシフトするニーズに変わりつつあり、その傾向に合わせていく必要を感じる。	
□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・新規感染者数は減少傾向にあるが、秋の行楽シーズンに関する広告出稿は前年同様全くみられない。イベントの中止も多く、厳しい状態が依然として続いている。	

	□	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによるイベント中止などが引き続きある。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・街の様子をみていると、緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置などがダラダラと続き、ひっ塞感が停滞している印象を受ける。
	□	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの感染が収まってきていると認識している。2～3か月前よりは商品の流れが良くなっている。しかし、価格の安いものが主流で動いており、コロナ前と同様の商売に戻っているかという点と分りかねる。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言の中でいまだ先は見えず、町内の温泉街も景気回復というような状況にはなっていない。
	▲	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・農協の米買入概算金が確定し、前年比で大幅下落となっている。
	▲	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・時短営業要請、酒類提供の制限等で飲食売上は依然として厳しい。土産品の動きも鈍く、生産数を極力落として様子を見ている状況である。
	▲	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・業界の出荷は4月以降、前年比10%減少で推移しており、上向き気配がない。
	▲	金融業（広報担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染の一服感とともに観光、宿泊関連が活気を取り戻しつつあった。しかし、東京オリンピック開催前後から県内でも感染が再拡大し、県外からの人の流れも再び細った。9月には県が独自の対策により、人の移動や密状態形成の自粛を主導している。その結果、個人消費も伸び悩んでいる。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が9月末までとなったが、正直、何も良い方向に向かっていない。解除後の10月以降に期待するしかない。
	▲	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。飲食、小売、サービス業は相変わらず低空飛行で、ここに来て住宅関係の建設業も業績が少し落ちてきている。全体として景気は悪くなっているとみられる。
	▲	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・半導体の品薄状況に変化はなく、メイン商品であるIT機器の入荷が遅れた状態が続いている。他の商品でカバーしようとしたが埋めきれしていない。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～7月までは前々年よりは悪いが前年よりはプラスで推移していた。しかし、8月からは前年も割るようになってきた。新型コロナウイルスの影響で当県も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ているため、売上がかなり厳しい。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・県内の緊急事態宣言は解除されたものの、まん延防止等重点措置の適用により、市内飲食店での酒類の提供停止要請が継続している。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・定期大口派遣の依頼とワクチン接種関連の派遣業務などにより、3か月前から安定して明るい。
	○	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人数の増加に伴い、求職者の登録者数も増加傾向になっている。求職者側の転職理由を見ても、一時は業績不安や年収減少に伴う転職の比率が高まったが、前向きな転職理由の人の活動意欲が高まっている。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・コロナ禍が続いていて、あらゆる業種で企業の事業の成長が止まっている印象を受ける。飲食業はもちろん物流、倉庫、専門商社といった各企業からの求人はここ数か月停滞した状況が続いている。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・現状、企業側の採用の動きも大きな変化はない。年内はこの動きは続くと考えられる。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数はほぼ横ばいである。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数に大きな増減はない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、新規求人数、有効求人数共にほぼ同数となっている。
	▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・販売、接客に関する需要が伸びず、停滞が継続している。

▲	アウトソーシング企業（社員）	求人数の動き	・求を出したが応募者が例年よりかなり多い。多くの職場で仕事を失っていることが分かる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響でイベント中止が相次ぎ、広告の出稿が減少している。
▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・製造業を中心とした事業所からの採用意欲はコロナ前の水準に戻りつつあったが、半導体不足の影響が長引くとともに別の原材料値上げが経営を圧迫しているという声が聞こえてきている。
▲	学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・県独自の緊急事態宣言が発出され、自粛の要請により、各企業の動きや活動が鈍化したとみている。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・コロナ禍により社会活動が停滞している。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言発出に伴い、若干動きが見えた経済活動、イベント、広告などが一気にストップし、7～8月の売上が急減している。今月も先が見通せず動きは止まったままである。経済活動再開の見極めもできず、宣言が解除されてもしばらく様子見が続くそうである。